



令和 4 年度 補助金決算効果報告書

令和 5 年 4 月 28 日

府 中 市 長 様

事業所の所在地 府中市府川町315番地  
議員名 藤本秀範

府中市補助金交付規則第10条の規定により、次のとおり事業実績及び収入  
支出決算を報告します。

(1) 事業実績

- 1 事業名 政務活動費
- 2 補助金額 104,930 円
- 3 補助金の効果

①第122回「ことば」教育研究会研修について

- ・府中市における教育対策の一環として、一般質問にて事業を促進させた  
質問に結びつくことが出来た。令和5年度事業において執行部側からも  
反映させた回答をいただいたことで一定の効果が見受けられた。

②10月19日～21日 JIAM 研修「地方財政制度の基本と自治体財政」・1月  
11日～12日 JIAM 研修「自治体財政の見方～健全化判断比率を中心に  
～」について

- ・決算主義および予算主義という基本的な地方財政の捉え方を学べたこと  
によって、自治体決算審査における調査業務に活かすことの出来る研修  
であった。決算総括審議における質疑に関係する内容であり、この事  
については継続して学び続けなければならないと感じている。また該当す  
る事業調査に対する効果となることと捉えている。

### ③行政視察～市政参画促進特別委員会～

- ・令和4年度に設置された特別委員会として視察により以下の点について効果検証とした。

岐阜県可児市への視察で感じた大きな特徴は、高齢化率の影響による人口構成の変化から、住民が地域を支える仕組み作りに特化した事業目的を明確化させている点であった。その仕組み作りに二つの目的を掲げている。一点目は「地域の支え合いの仕組み」二点目は「地域経済の活性化」であり、捉える点としては「支え合いのサイクル」を掲げ市民と事業者と行政が一体となり、与えられた役割を総合的に連携出来る仕組みを構築された自治体であった。府中市議会においても、今後の課題として捉えていくことと併せ、議会改革の奥深さへの認識が効果と捉えている。

愛知県岩倉市への視察も行った。市の規模は住民が約47,700人であり、地理面積は非常にコンパクトな自治体。議員定数も15人規模である。大きな特徴はサポーター制度の導入を重要視された議会の運営である。地方議会の存在意義と多様な住民参加が目的とのことで、住民にとって身近な存在であるという議会のあるべき姿が問われているなかで「地方議会が住民の理解を得るためには、どのような取り組みが求められるのか」という、議会に対する住民の理解を促進されている。

全体を通して、岩倉市議会における議員サポーター制度の取り組みが好循環を生んでおり、それがきっかけで市民の参加意識が高まり、市政の活性化へ繋がっており、議会運営の自治体モデルという印象を強く受けた。

